

問 大雪溪の新ルートについては

答 現地調査をし、検討します



太田正治議員

【山岳観光について】

問 暖冬の影響で8月中頃、大きなクレバスが出来て登山に支障を与えたことは、今までにはなかったのか。

村長 1カ月以上早かったです。

問 白馬岳への登山について大雪溪は安心・安全なメインルートであるが、今後どのように考えているか。

村長 地元ガイドの皆様には、白馬大雪溪ルートの維持に多大なご尽力を頂いたことに感謝し、これまで通り、秋道の整備は引き続き行って参ります。大雪溪ルートとの関係者現地確認に際しての、今後の対策を協議す

る場でも確認した事項でありませし、山案内人組合にも可能な限り秋道ルート整備をお願いしていきます。

問 新聞報道の新ルートの現地調査とは。

村長 今後も、同様な状況が発生した場合の対策も考えておく必要があるという点で、雪の状況に左右されずに安定し、かつ大雪溪ルートと登山時間、さほど変わらないルートの検討は必要であると認識しております。

問 梅池自然園へのルートをグリーンシーズンズの観光ととらえ、小谷村と共同で整備する考えは。

村長 これまでも検討が重ねられており、現地視察を行った経過もあります。実現すればグリーンシーズンズの新たな目玉となるという期待もあります。小谷村及び山岳関係者、並びに関係省庁と共に、来年度、現地調査を行いながらルートの検討を、進めていきたいと考えています。

【道路問題と道の駅について】

問 松本系魚川連絡道路の、村内ルートについての考えは。

村長 大町市街地ルートの設定によるところも大きく影響するところですが、大町市街地北から佐野坂付近までと、楠川橋付近から小谷方面は、現在の道路を活用していく方針が示されています。村内ルートについては、現道活用とバイパス案を含め必要な調査を進め、地域にとつて最適な位置付けとなるよう、整備のあり方を検討していきます。

問 国道148号の交通量が多く、安心・安全な災害に強い道路ではない状況である。今後の考えは。

村長 災害に強く安全な高速道路網の構築は、地域住民の永年の悲願です。観光、物流の成長が地域経済を牽引することとは明白で、「松本系魚川連絡道路」の整備により、各観光ス



平成28年8月 大雪溪の崩落により登山道が閉鎖された状況

ポットへのアクセスの向上、交流人口の拡大に繋がります。災害に強く、安全で、地域経済を育む高規格な路線として一日も早く整備させるため、全力をあげて地域一丸となって連携し、取り組んでいく所存です。

問 道路と関係の深い道の駅について、現在の道の駅を、今後どのような運営形態にする方針か。

村長 新「道の駅」構想について、本村で求められる道の駅の姿は、総合観光情報の発信基地として、さらに地元の特産品・農産物・林産物の集中管理機能を持たせた地域循環経済の中心となる施設が必要です。新「道の駅」構想と併せて、農産加工施設を含む既存施設の活用や、施設の管理、運営体制を検討していきたいと考えています。